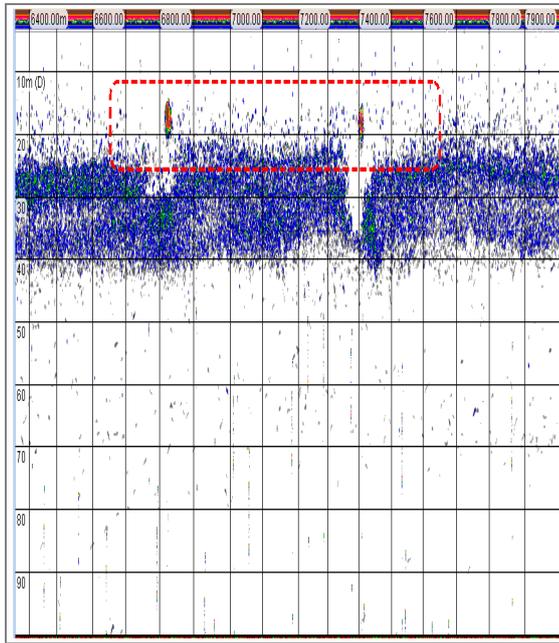


反応構成生物： サンマ (*Cololabis saira*)

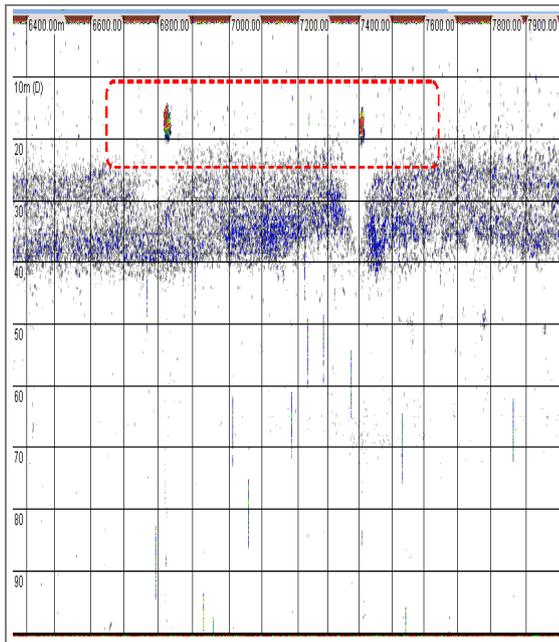
収録日時： 2002 年 7 月 25 日 (昼間 16:30 頃)

収録海域： 太平洋

収録機種・周波数： EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

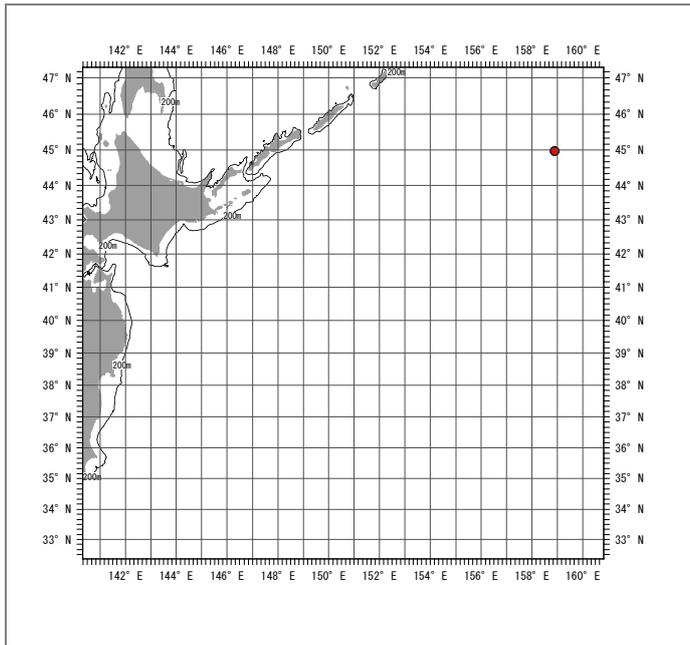
表示スケール： 縦 100 m / 横 1600 m

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 100 m

表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供： 日本鯨類研究所 (村瀬弘人), 遠洋水産研究所 外洋資源部, 第七開洋丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



Cololabis saira

写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

表層トロール網（0~30 m）によりサンマを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： サンマ 325 kg, 他生物なし

備考：サンマは計量魚群探知機によって探知しにくい表層付近に遊泳する。このため、とくに反応がなくてもサンマが漁獲される場合もある。反応形状や深度からカタクチイワシ等の他の浮魚類と区別することは困難である。